

## The Wave Meister

2016年よりウェイティングが続いた第一回 The Wave Meister が遂に4月8日（日曜日）に開催された。

この大会はジャンプをカウントしない純粋に波乗りだけの大会ということで、求められるコンディションは、少なくともしっかりと波乗りのパフォーマンスが可能なコンディション。

ということで、決行するにあたり大いに実行委員会の判断を悩ませた大会で、開催までに足かけ3年を要してしまった。

前日に大荒れだった御前崎は、当日には落ち着いたものの予想より波のサイズが大きく、セットは優に頭サイズを超える The Day。

シーズンでもめったにない程の素晴らしいコンディションが会場のロングビーチをヒットした。



池田選手

開始予定時刻の9:30分段階ではインサイドの風は不安定ながら、波質は申し分なく、ウェイブのみのコンテストを行うには絶好のコンディション。

各クラスのウェイブの職人たちがじっくりと波を料理できるように、ヒート時間15分、ベスト2ウェイブピックアップで大会は開始された。

オープンクラス、エキスパートクラスはリパチャージ方式が採用（敗者復活戦）。1 ラウンド目の1位のみが3回戦に進出でき、敗者はリパチャージヒートにまわる。

全ての選手は必ず2ヒートを行えるということで、1ヒート目は全力で波のクリティカルなポイントを攻める選手が多く見られた。

久々の大会出場となった大御所・池田選手は、エキスパートクラスの1ヒート目から猛チャージ。

きわどい場所でのワイプアウトは大いにギャラリーを沸かせてくれた。



山本選手

ファイナルラウンドには残れなかったが、山本選手は終始良い波を引いてきて、代名詞となるスラッシュバックで美しいスプレーをあげていたのが印象的だった。

優勝候補筆頭だったが、2本目のスコアが揃わず、惜しくも敗退。

しかし残れた多くの写真をみれば、彼がファイナリストとそんな色ないレベルであることは間違いない。

エキスパートクラスのファイナリストは橋本・鎌田・池田・田阪の4選手。

終始良い波をとらえロングライディングで8点・9点という2本の高得点ライディングを叩き出した橋本選手が優勝。



橋本選手

1回戦ではベストパフォーマンス賞に選ばれたライディングを披露した鎌田選手が2位。



鎌田選手

全ヒートの全ての波をチャージして健在ぶりを示した池田選手が3位となった。



池田選手



エキスパートクラス



八方選手

オープンクラスを最も沸かせてくれたのは八方選手。

リパチャージヒートでの素晴らしいライディングにはジャッジも脱帽。サイズのある波をしっかりと乗り切り、オープンクラスの最高得点を叩き出した。

オープンクラスのファイナリストは谷口・森田・服部・遠藤の4選手。

インサイドの風がより不安定になり、ゲティングアウトに時間を要するコンディションの中で、わずかなチャンスをつかんでゲティングアウトするウェイブの総合力が試されたファイナルヒート。

そんな中で人一倍大きいエリアのセイルサイズを強気でチョイスし、コンディションを見極めてしっかりと波を乗りついた服部選手が優勝。



服部選手

波乗り技術に定評のある遠藤選手は、サイズのある波を常に引っ張ってきていたが、グーフューブレイクで得意のロングライディングが封印され惜しくも2位となった。



遠藤選手

久しぶりの大会参戦となった森田選手だが、ベテランらしい粘り強いライディングでファイナル進出。ファイナルではインサイドで大幅に時間をロスしてしまい、2本目の波を捕まえることができなかったのが悔やまれるが、流石の3位入賞。



森田選手

ウイメンズクラスは4人ヒートが3回行われ、3回とも順位が入れ替わる激戦ヒートとなった。非常にレベルの高い4人は、この日の難しいコンディションを難なく乗り越え、高得点を連発。誰が勝ってもおかしくない激戦を制したのは現役高校生の野口選手。遅めのタイミングだろうが容赦なくクリティカルポイントを攻める姿勢は一貫しており、技術だけではなくメンタル力の高さも素晴らしかった。



オープンクラス



野口選手

2位にはロンゲストライディング賞を受賞した多賀須が入賞。つねに丁寧に波を使い切るテクニックと、良い波を選別する経験値の高さがうかがえた。



多賀須選手

優勝候補だった森選手は動きも良くライディングの切れは群を抜いていた。しかし本人が口にしていたように、練習通りの攻めのライディングを要所で出し切れずに惜しくも3位となった。



森選手



ウイメンズクラス

ユースクラスにはOWC所属の中学生3人のヒートとなった。  
ユースには波のサイズが大きすぎた感があったが、巻かれても流されてもゲティングアウトをあきらめない姿に感動させてもらった。  
そんな中、2回目のヒートでは何度もアウトに成功し波乗りのスコアを揃えることができた石井（颯太）選手が優勝。



石井（ハヤタ）選手

2 回目のヒートでは苦勞しながらも最後にはアウトに成功し諦めない精神力を見せてくれた松井選手が 2 位。



松井選手

ベストワイプアウト賞にノミネートされた自分のダブルオーバーサイズの激しいワイプアウトから生還した石井（碧志）が 3 位。



石井（碧志）選手



ユースクラス



そしてこの大会オリジナルの3つの副賞は以下の選手となった。

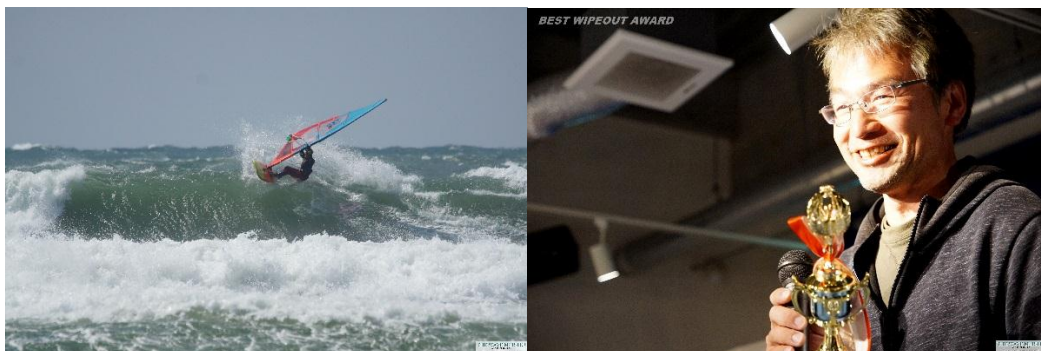
ベストムーブ賞

鎌田選手



ベストワイプアウト賞

田阪選手



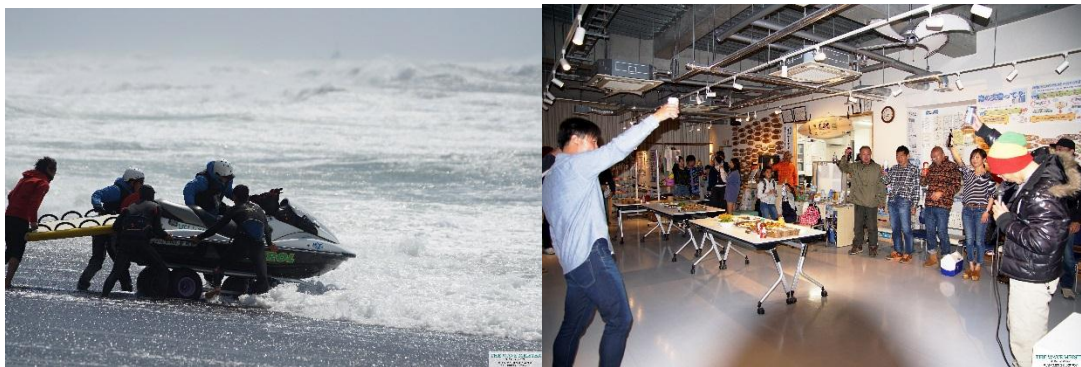
ロンゲストライディング賞

多賀須（恵）選手



コンディションに恵まれ大成功となった第一回 The Wave Meister だが、2 回目は本年度 12 月よりウェイティングに入る。

直ぐに成立できるのか、それとも 3 年越しになるのか、候補日の運次第だが、十分に次回も素晴らしいコンディションで開催できることに期待したい。



The Wave Meister 実行委員長 石井 久孝